



くすりの質問箱 Q&A

Q 薬を安全に効果的に使うためには、どのようなことに気をつけたらよいのでしょうか。

A 薬の効き目は、飲む時間に深い関係があります。早く治そうと思ったり忘れていたりして、2回分をまとめて飲んで早く治るものではありません。多く服用すると、かえって悪影響のなる場合もあります。また飲む時間が変わると、薬の効果が強くすぎたり、逆に効果がでなかったり、胃を痛めたりすることがあります。ですからお医者さんや薬剤師等が説明した量や服用時間を守って飲むようにしましょう。薬の服用時間は食前、食直前、食後、食間、就寝前それに一定時間ごとなどがあります。

例	食前	食事の約30分前
	食直前	食事をすすぐ前
	食後	食事の後30分以内
	食間	食後2時間くらいたってから

そのほかに、とんぶく薬があります。これは症状がでたときにだけ指示通りに服用するものです。一日に何個までのんでいいのか、間隔をどれくらいあけた方がいいのかなどを確認することも大切です。

◆◆ 新人紹介 ◆◆

坂本 泰浩

本社・事務
出身/熊本市
趣味/卓球と読書

久保山 理恵

ひまわり薬局・事務
出身/水俣市
趣味/スポーツ観戦と映画鑑賞



村越 祐美

ひまわり薬局・薬剤師
出身/鹿児島県指宿市
趣味/生け花と犬の散歩

小田 由貴

さくら薬局・薬剤師
出身/熊本市
趣味/バドミントンとテニス

よろしくお願ひ致します！

ACCESS MAP



お世話になりました！
旅立ちに際して

早いものでひまわり薬局に入職してから2年が経ちました。振り返ってみると、社会のことなど右も左もわからないまま、ひまわり薬局に就職した僕にとって、温かい同僚の励ましと多くの患者さんとのふれあいが大きな心の支えとなりました。ありがとうございました。

この4月から僕は、医学生とかかわる仕事をするために、熊本県民医連の事務局に異籍することになりました。ひまわり薬局を離れることへの寂しさはありますが、今後の熊本県民医連の医療の発展のために、新しい職場でも微力を尽くして頑張りたいと思います。春の陽が期待を大きく膨らませる4月、多くの仲間の励ましの声を背に旅立ちます。

ひまわり薬局 事務 本高 勝久

2010年4月1日からの調剤報酬改定のお知らせ 明細書の発行の義務化の拡大

調剤報酬改定に伴い、患者さまの調剤に関わる内容と窓口負担等が変わりました。

今回は、レセプトの電子請求を行っている保険薬局では、原則として薬品名等が記載されている明細書を無料で発行することになりました。医療の透明化や情報開示を求める声に対応するものです。ご不明な点等はお気軽にお尋ね下さい。

一方で、今回の診療報酬改定は、国民が求める安全・安心の医療提供を保障するための評価は十分とはいえず、保険で良い医療が受けられなくなる内容を含んでいます。

私たちは、必要とされる医療を必要な人が安心して受けられるように診療報酬の引き上げや改善と患者負担の大幅な軽減を求めて医療関係者、患者さま、国民の皆様とともに奮闘していきますので、引き続きご協力をお願いします。

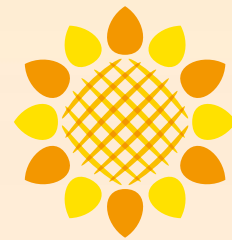
■開局時間

曜日	時間
月・水・金	午前9時～午後7時30分
火・木	午前9時～午後5時30分
土	午前9時～午後1時00分

携帯で簡単登録！

住所や電話番号の情報が載っているQRコードです。

ひまわり薬局情報



ひまわり薬局だより

初夏号

2010.No.62

■発行所/ひまわり薬局
〒862-0954 熊本市神水1丁目20-7
TEL096(387)2101 FAX096(387)5399
■発行責任者/西山 真純
HPアドレス/http://www.kk-pharma.jp/



松田寿生さん撮影

二つの「千人検診」

1987年11月、不知火海一円19箇所で一斉検診が行われました。1,088人が受診し587人を水俣病、271人をその疑いと診断した検診です。私たち地域の民医連職員は手分けして各地区を担当しました。初めての地区の公民館ではマイクを借りて検診を案内、検診会場の設営・弁当の手配、帰りの船の予約などに汗を流しました。そして支援の医師や看護師とともに何人会場に来られるかと気をもんだものです。

その22年後、2009年9月の「不知火海岸健康調査」には1,044名が17箇所の会場で受診され、全国の民医連などからさまざまなボランティアが集い、多少の混乱はあったもののその役割は少しずつ整理されたものになっていました。

この二つの「千人検診」の間で何が変わったのでしょうか？そう、被害者が自ら声を上げ語り始めたことです。緊張で手を震わせながら用意した原稿を読み上げる姿は、薬局でじっと薬を待っておられるそれからは想像できません。そしてその小さな声人が動かし、支援の輪を広げる事が、その声の主を励まします。今この患者救済の歯車が大きく動き始めようとしています。さまざまな思惑でこれを止めたり逆転させることのないよう、さらに声をあげていきましょう。

(株)健康共同ファルマ取締役
さくら薬局管理薬剤師 甲斐 康幸

